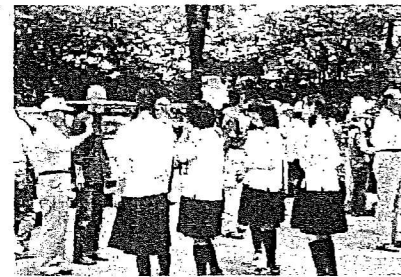


平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ファームステイ松川ブランド推進事業
事業主体 (連絡先)	安曇野松川村農家民宿連絡協議会 (連絡先: 0261-62-3109)
事業区分	⑥イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	505,440円 (うち支援金: 404,000円)

事業内容

当団体は、農業に親しむ機会の少ない都市部の子供に対して農作業体験を提供することにより、農業や農村生活の理解及び農家との交流を深める取組を行っている。この取組の中では、受入れ生徒との別れの際に、松川村の農産物をお土産として渡しているが、長野県及び松川村をアピールできるお土産袋を制作し使用することで、受入れ生徒の家族にも魅力を伝えるとともに、袋をそれぞれの家庭で再度利用していただき、知名度の向上を図る。



【農家と生徒のお別れの様子】

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

アルクマや松川村キャラクターのりん太、リンリン等でデザインした丈夫な土産袋を制作し配布することで、生徒が持ち帰ったお土産が「長野県松川村」で生産したものと明確にわかるようになった。また、東京都から来た中学校生徒462名に対して、制作した袋を使ってお土産を渡し、そのうち175名にアンケートを実施したところ、長野県や松川村のキャラクターを初めて知ったことや、お土産袋を再利用したい旨の意見があった。加えて、平成27年度は約1,500名の生徒に渡す予定であり、継続的な取組が可能となっている。

【目標・ねらい】

- お土産の価値を伝達する。
- 生徒家族によるお土産袋の再利用を促進
- 長野県及び松川村のPR

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

松川村での農業体験や生活体験を希望する学校は年々増加しているが、松川村だけの受入れの拡大は、農家数等の問題から困難な状況となっている。今後は、長野県にもう一度来てもらうことを目指し、農作業体験の質の向上を図るとともに、お土産袋の配布を継続し、受け入れた生徒との交流を深めつつ、生徒の家族にも長野県や松川村の情報や価値が伝わるよう取り組んでいく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。  
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある